

2013年度日本学連第4回幹事会議事録

開催日 2014年(平成26年)3月6日(木)・9日(日)
 会場 ホテルファミテック(6日・栃木県日光市)
 ホテルニュー塩原(9日・栃木県那須塩原市)

【議題】

(6日)

1. 自己紹介
2. 会計について
3. JOAとの関係について
4. 個人情報保護理念について
5. インカレスプリントについて
6. 地図規約について
7. 「テレインと地図の管理に関する規則」の廃止および新規規則の作成について
8. 来年度幹事について
9. 技術委員会報告
10. 各部局活動報告
11. 各地区学連活動報告
12. 次期幹事会について

(9日)

2. 会計について
 3. JOAとの関係について
 6. 地図規約について
 5. インカレスプリントについて
- 明日の総会について(番外)

【出席者】(敬称略)

氏名	役職	学校名	出席日	
			6日	9日
山川克則	副会長	東京大学卒		○
木村佳司	理事(JOA理事兼務)	山口大学卒		○
大西康平	技術委員会委員長	京都大学卒	○	○
山本淳史	幹事長	東京大学	○	○
新谷国隆	副幹事長	名古屋大学	○	○
平野大輔	事業部長	名古屋大学	○	△
高橋秀明	広報部長	金沢大学	○	○
山田晋太郎	事務局長	東京工業大学	○	○
新粥文哉	千葉大渉外・次期事務局長	千葉大学	○	○
杉村俊輔	普及部長	東北大学	○	○
平野弘幸	渉外部長	東北大学	○	○
橋場良太	次期渉外部長	東北大学	○	○
山田陽子	会計	早稲田大学	○	○
大久保宗典	東京大渉外・次期会計	東京大学	○	○
渡仲祥太	会計監査	名古屋大学	○	○
野本圭介	会計監査	筑波大学	○	○
千葉聡美	北東学連幹事長	宮城学院女子大学	○	○
大川拓哉	次期北東学連幹事長	東北大学	○	○
高嶋健伍	北信越学連幹事長	金沢大学	○	○
久須美裕	北信越学連副幹事長・次期北信越学連幹事長	新潟大学	○	
佐藤大樹	関東学連幹事長・次期日本学連副幹事長	東京工業大学	○	○
村瀬貴紀	筑波大渉外・次期関東学連幹事長	筑波大学	○	○
川上雅人	東海学連幹事長	名古屋大学	○	○
今井祐太	東海学連副幹事長・次期東海学連幹事長	名古屋大学	○	○
宇井賢	関西学連幹事長・次期日本学連幹事長	京都大学	○	○
糸井川壮大	関西学連副幹事長・次期関西学連幹事長	京都大学	○	○

○:出席、△:委任状、空欄:欠席

議事録作成:高橋 秀明(広報部長・金沢大)

2013年度第4回日本学連幹事会議事内容(3月6日開催分)

発言者 (敬称略)	発言内容など
	幹事会開始:17時55分
	1.自己紹介 ●今回の幹事会の出席者の自己紹介を行った。 出席者については、議事録表紙を参照。
	2.会計について ●山田(陽)より今年度会計中間報告があった。また来年度の予算案について議論した。 ●山本より、一昨年度・昨年度の会計について、進捗状況の報告があった。
	資料配布・確認 【会計中間報告】 山田(陽) 前回幹事会に引き続き、明細をつけた中間報告を用意した。
	【来年度予算案について】 山田(陽) あと、来年度の予算案の承認を総会で取らなくてはならない。まだ、去年と同じ額を付けているが、要望があれば、申請書を出してほしい。 山本 本来ならば、今回の幹事会までに各部署の長は予算の要望を出さなくてはならなかったのだが、皆忘れていたので、去年と同じ額を付けたということである。何か要望はないか。 大西 ユニバー(世界大学選手権)への補助を上げてほしい。かつては2年で70万円あったが、(学連)会計が苦しくなったために、20万円まで下がった。70万円までは足りないが、もっと補助が出ると選手が少し楽になる。 山本 (具体的には)どこに使われるのか。 大西 スタッフの交通費や参加費補助として出したい。なお、70万円の予算がついていた当時はウインブレやジャパンウェア、トリムの購入費もこの補助金から出していたが、現在は貸与されている。 山本 (補正すると)3・4年前、学連の会計がひっ迫したということである。ただ、現在では、その当時より、加盟員が300人くらい増えたので、多少潤ってきていると思う。そういったところへ還元することは本来あるべき姿である。 佐藤 総会で認められればいいのだろうか。 山本 予算の議決を行うところは総会である。幹事会でよいとなれば、総会に挙げられることとなる。 野本 2009年第3回幹事会の議事録には、「ユニバーは大学生でない人も出場し、世界のトップの大会ではない中、何に使われているかわからないのに、1年で35万円出すのは多すぎる。」とある。 山田(晋) (確かに)大学院生など、加盟員でない選手が出場している。 大西 ただ、代表選手(の年齢層)は若くなってきているし、そもそも、(大学生以外の選手には)かつて加盟員だった人しかいない。 山田(晋) 年度の予算を考えるうえでは、2014年度の(加盟)金を出していない人に、2014年度の予算から補助を出すのは、少しおかしい気がする。 佐藤 年金などを考えれば、上の人にお金を挙げて、それが循環するのなら、いいのではないのか。 山田(陽) なぜユニバーにだけ補助が出るのか。 大西 ユニバーへは日本学連から選手を派遣しているためである。JWOC、WOCについてはJOA(日本オリエンテーリング協会)から選手が派遣される。ただ、(JOAIに加盟すると)選手の派遣はJOAの担当のような形になってくるので、日本学連から補助金を出すのは、これが最後になるかもしれない。 山本 これから(仕組みが)変わるのならば、来年度は今のままでよいと思う。 大西 2年分の補助を20万円から30万円に増額するという決定を総会の場でしてもらえないだろうか。 山本 その2年というのは、今年(2013年度)と来年(2014年度)のことなのか、それとも来年と再来年(2015年度)のことなのか。(前者ならば)あと1年なので、2年分のごときは考えなくてよい。 大西 今年と来年のこととしてよい。 山本 ユニバーはいつ開催されるのか。 大西 今年の8月である。 山本 来年と再来年の予算に計上されたものが再来年のユニバーで使われるということだったのか。 山田(陽) 来年度(2014年度)の計上を20万円として、今年度(2013年度)の分と合わせて30万円としてもよいだろうか。 大西 そのようにお願いしたい。 山本 今年(2013年度)の分はもう使ったのか。 大西 まだ使っていない。たぶん、隔年での予算計上ができないため、2年に分けて計上している(のが今までの流れだと思う)。 山本 (まとめると、ユニバーの予算が)減ったのは、大学生でない選手も出場し、何に使われているかわからないという理由だろうか。 大西 使った明細はすべて幹事会に挙げればよいだろうか。 山田(陽) 例えば、インカレミドルなどは、すべての明細が私のところへ送られてくる。 山本 本来ならば、総会の場でも報告すべきなのだろうが、できていない。 渡仲 スタッフを2人連れて行くのにかかるお金はいくらだろうか。 大西 往復の交通費だけで少なくとも(1人)12万円~15万円はかかっているから、2人で30万円かかっていることになる。ただ、交通費が全額補助されたことはおそらく今までなかった。前回(大会の派遣)は交通費補助は1人5万円だった。 野本 ユニバーの会計の収入として、自己負担金と学連からの補助のほかにないのか。 大西 (ユニバーの)セレクションの赤字がある。ただ、今までは山川さん(YMOE社・日本学連副会長)が(セレクションを)ボランティアで行っていて、収益はすべて代表選手や役員の方へ行っていたが、今年はNishiPROにお任せしているので、補助が出るかどうかはわからない。(ちなみに、)JWOCには補助があるときとないときがあるが、WOCは補助がたくさんあるが、かつては逆に、ユニバー以外には補助金がなく、寄付金を集めていた。 →ユニバーの補助を年10万円から年20万円へ引き上げることについては、認められた。(現幹事13人中賛成13反対0)
山田(陽)	加盟金など(修正して)総会に出せばよいか。
山本	そういうことである。
山田(晋)	事務局の予算額が今年度より増えて10万円となっているが、今年度同様、5万円がよい。
山田(陽)	わかった。なお、予算額を10万円としていたのは、3年前のデータを参照したためである。
新谷	事務局維持費が下がるかもしれないという話が前回幹事会であったが、どうなったのか。
山田(陽)	まだ、山川さんから話はない。
渡仲	今までの分の幹事会の交通費が大きい。
山田(陽)	今回の中間報告で反映されているのは、第3回幹事会の交通費で申請のあった分までである。すでに50万円かかっているから、来年度はもっと予算を増やせばよいだろうか。なお、3月31日までに申請してくれば、(経費を)支給する。
山本	いくらが適正だろうか。70万円くらいとっておけばよいだろうか。

大西 次期幹事を呼んでいるから、(現・幹事の分は)実質50万円を少し超えるくらいかもしれない。
佐藤 55万円±5万円で収まるのではないだろうか。
山本 それでは、55万円にしておこう。

平野(弘) 渉外費として20万円が計上されているが、去年も今年もそんなに使っていないので10万円に減らしてほしい。
山田(陽) わかった。(ちなみに)渉外費(の内訳)は、矢板への交通費などなのか。
平野(弘) 矢板の交通費や回覧の郵送費として使われている。
山本 中間報告では、収入が支出の2倍弱となっているが、今後会計はどのようになる予定だろうか。
山田(陽) 支出としては、前回の幹事会の交通費、今回の幹事会の交通費・宿泊費、技術委員会へのユニバー補助の支払いがある。
山本 支出の欄にある、「地図代120万円」とは何か。毘沙門山や矢板山田のことだろうか。
山田(陽) おそらく、山川さんが買ったものと売ったものとのつじつまを合わせて出てきた金額だと思う。言われた金額を振り込んだ。
山本 (確かに)山川さんは別にガラス張りの会計を出している。
山田(晋) 2013年度(中間報告)の事務局(支出)に計上されている19,930円は2012年度の予算から支出された金額なので、そちらに計上されるべきである。
山田(陽) ここには書かず、昨年度分に書くようにしたい。そうすると賛助金のフィードバックのお金についても、同様である。(中間報告を)作り変えたい。
山本 部局活動費はいつ支払われるものなのか。
山田(陽) 申請されたら支払っている。3月31日までに申請されれば支払う形でよいか。
山本 それまで事務局長などにそれを立て替えさせるのはどうかと思うので、来年度からは、年度の初めに、予算額を振り込み、余った分を返してもらおう、という形でよいのではないだろうか。
山田(陽) 予算申請書をあさってまでに出してもらって、来年度予算案に計上するかたちでよいか。
山本 そのようにしてほしい。
山本 (データのある)3年前の報告と比べて、今回の決算報告はどうだろうか。今年は地図売上がすごく多いが、毎年300万円もの黒字が出ているとは思えない。
大西 毎年インカレ関係のお金の流れがかなり不明瞭であるので、その部分を除いて過去と比較しないといけなない。
山田(陽) 2009年度では収入760万円、支出420万円なので、(340万円の)黒字が出ているが。
山本 2001年度のインカレの黒字が入っているから、特殊だと思う。
大西 (2001年度のインカレは)400万円の黒字が出たインカレである。
山本 インカレ関係は年によって上下している。その年のインカレ以外の会計は、収入500万円、支出400万円余りである。
山田(陽) 収入はもう増えないと思う。
山本 インカレ2012の黒字が80万円出ていて、地図収入が増えているから、こんなものだろう。
大西 昔に比べると、加盟費が1000円上がっている。
山田(晋) それにしても、100万円くらい、かたく黒字が出ている。地図代は本来、単年度支出で吸収するようなものではない。
大西 ふつつ5年くらい、時間をかけて回収していくものだろう。
山本 それを計上しても黒字が出るかもしれない。そうすると、個人の加盟費を昔の水準に下げることがありかもしれない。(現在の加盟員が)1000人いれば(1000円下げると減収は)100万円である(から、問題ないだろう)。
山本 加盟費は今年度の最初に決めるのか。それとも、予算編成の時に決めるのか。それに関する規約がどこになかったらどうか。ただ、300万円の黒字は出すすぎだが、加盟員の減少が20年以上続いて、ここ3年くらい増加しているから、貯められるときに貯めるという考え方もありだと思う。
山田(晋) 今年(、黒字が多いの)はたまたま地図がたくさん売れたという要因があるが、300万円の黒字ならば、加盟費がゼロでも大丈夫くらいである。
山本 加盟費が上がった年の決算のデータはないだろうか。
大西・佐藤 (また決算報告がない、一昨年度(2011年度)・昨年度(2012年度)の)小柳・前会計の時代である。
山田(陽) データがない。事務局には、何人加盟金を支払ったかどうか、というデータはないだろうか。もしあれば、2年分のデータを送ってほしい。
山田(晋) わかった。ただ、この2年分のデータは、加盟費が合わなかったため、1度まとめて、(会計へ)送ったはずである。
山田(陽) その通りだった。
山田(晋) (記録を確認すると)2011年度に個人の加盟費が上がったようだ。
山本 そのときと比べて、今はどういう状態だろうか。
山田(晋) 2010年3月15日の記録によると、登録費についても加盟校300円、準加盟校900円ずつ上がったとある。
山本 2010年の決算資料はないだろうか。
山田(陽) あった。個人(の加盟費が)3000円とある。
山本 2010年だと、収入700万円、支出500万円とある。(ただ、決算にある)2年分の貸付金とはなんだろうか。
大西 ジェネシスマッピング社の関係だろう。
野本 (記録を見る限り)ジェネシスマッピング社などの関係のようだ。
新谷 ここでは何を決めるのか。
山本 (総会で、会計について議論しているときに、)「黒字が増えているが、どうするのか」と質問されたときにどう答えるか、ということだ。
「来年度の予算で加盟費を下げる」というのは一つの答えであるが、それが妥当なのかどうか(決めたい。)(ただ、)見たところ、2009年度、2010年度は黒字であるので、(加盟費を)減らしても大丈夫そうだ。
新谷 「例年赤字だったので、今年度収支改善をした」という意味で(下げていいのではないだろうか)。
山本 加盟員数はどのように推移しているだろうか。
野本 (活動報告書によると)加盟員は、かつては750人にまで減ったが、今は1200人余りにまで回復している。
山本 (すなわち)500人増えている。加盟員数がまた減少した場合は再び上げるかもしれないということにして、加盟員が増えたので、来年から加盟費を少し下げる、ということでもよいだろうか。
山田(晋) 加盟員数は、ここ5年くらい増加傾向である。
山本 平成21年が一番少なく、750人であった一方、(現在と同じ)1200人いたのは平成13年である。
(学連所有の地図に関しては)日光・矢板の地図が、今年は作ったばかりで(作成費用を)支払いが多かったが、来年は黒字になると思われる(から、加盟費を下げて問題ないだろう)。
山田(晋) ちなみに、加盟員数は1年435人、2年305人、3年147人、4年191人である。
山本 また(学連会計が)厳しくなったら上げることにして、加盟費を1000円値下げして、以前の金額である、2000円に戻したい。
山田(陽) 一応、来年度の加盟員数も1000人規模を見込んでよいだろうか。
山本 そのようにしてもいいと思う。ただ、加盟員数が、ここ3・4年の間、なぜ増加傾向なのだろうか。普及部や新歓の活動の成果なのだろうか。
→加盟費を2000円とすることについては承認された。(現幹事13人中賛成13人反対0)

野本 日光愛宕山付近の地図接合(の費用)は、(昨年度と今年度の)どちらの会計に含まれるのだろうか。
山本 幹事会で決済したのが今年度だったので、今年度(の会計)に含まれる。
山田(陽) 山川さんは(地図を)まだ作っていないのではないだろうか。モデルイベントなどの仕事が続いている。
山本 実際に調査をしているのは別人なのかもしれない。山川さんは9日の幹事会に来るので、地図についての報告をしようと思う。
【一昨年度・昨年度の会計について】

山本	<p>前年度の幹事長・副幹事長を巻き込んで、小柳・前会計へアプローチをしたが、全く連絡がつかなかった。しかし齋藤理事が先日電話を直接かけて、ようやく連絡がついたようだ。</p> <p>今日の昼ごろに齋藤理事から電話で聞いたところ、前会計曰く、これまでメールの返信ができなかったのは、メールが受信できない状態だったためだといふ。また、帳簿はつけていたのだが、パソコンのハードディスクに傷がつき、修理不可と言われたとのことである。齋藤理事は、通帳とメールなどで照合するように言ったが、連絡はないのが現状である。</p> <p>齋藤理事が井戸・2010年度会計が確認したところ、会計監査の仕事は、帳簿と通帳明細の確認のみで、領収書との照合は行っていないかったという。これからは、それをしっかりやるようにして、あとは、わかる範囲で総会で報告するしかないと言われ、9日に木村理事が来るので、そこで理事の方と相談したい。</p>
	途中休憩: 19時07分～20時38分
	<p>3. JOAとの関係について</p> <p>●JOAとの関係について日本学連総会で話す内容と、JOA加盟後の手続きについて、それぞれ最終確認した。</p>
山本	今回の幹事会では、総会で話す内容の確認を行いたい。
大西	資料確認
山本	確認だが、日本学連からJOAへは加盟時の登録料と毎年の年会費を支払えばよいのか。
大西	資料に書き漏らしていた。直しておきたい。登録料50万円だったと思うが、年会費はいくらだったのだろうか。年会費は10万円である。ただ、ふつうJOAから都道府県協会へ、5万円が戻されているので、実質5万円となっているが、学連の場合は、それが無い。
野本	自動的に大学所在地の県協会に登録されるということなのか。(登録される県協会は)選べるのだろうか。
大西	所属したい協会を書いてもらった方がいいのかもしれない。社会人ならば、勤務地・出身大学所在地・出身地それぞれの協会へ登録ができる。
佐藤	希望がある人はそれを通せばよいのではないだろうか。
大西	(どう扱うのか)ははっきりさせておいた方がいいと思う。
山本	そのあたり(都道府県協会への登録について)は、まだ話が出ていなかった。それでは、JOAへ支払う金額と、都道府県協会への登録について、9日に木村理事に確認をしておきたい。
	<p>4. 個人情報保護理念について</p> <p>●前回に引き続き、個人情報保護理念(案)について、内容の確認をした。特に大きな修正点は出されなかったため、この内容で総会にかけかけることとなった。</p>
山田(晋)	前回幹事会のあと、理事の方々に保護理念案を見ていただいたが、特に問題がないだろうということだった。総会にかけたい。
大西	登録するメールアドレスは携帯アドレスなのだろうか。
山田(晋)	PCもしくは携帯のどちらかを登録するようにしたい。
山本	前回幹事会で指摘された点は修正されているのか。
山田(晋)	直してある。
山本	理事の方々がよいのであれば、(総会にかけても)いいのではないだろうか。
	<p>5. インカレスプリントについて</p> <p>山川 (担当者不在のため、9日へ先送り)</p>
	<p>6. 地図規約について</p> <p>●地図規約の最新の案の内容を確認した。内容が総会までに完成しなかったため、一定期間の修正期間を設けることを条件に、総会にかけられることとなった。</p>
山本	資料確認
山本	齋藤理事が何度も直したりチェックしていて、完成まであと少しのところである。総会では、完成直前形を出し、出来次第、完成形を公開して、一定期間意見を募集するという条件を付けて、(地図規約について)総会で決済を取るという方針となった。何か意見はないだろうか。9日に木村理事が来たときにも意見の確認はするが、基本的にはこの形で総会に出したい。→特に異論はなかったため、9日に再度確認のうえ、総会にかけられることとなった。
	<p>7. 「テレインと地図の管理に関する規則」の廃止および新規規則の作成について</p> <p>●「テレインと地図の管理に関する規則と新規規則について」変更点の確認を行った。その結果、指摘された部分の表現の調整をして、総会にかけられることとなった。</p>
新谷	新規規則の内容は前回説明した通りである。廃止する規則の大部分は新規規則へ、一部は地図規約へ移行させた。「渉外整備委員会」と「違反」については破棄した。
山本	(確認だが)前回幹事会ではどんな意見が出ていたのか。
新谷	第6条3・4について、「本連盟外のものが」という記述を付けてほしいと言われたので、そうした。
大西	「凸版印刷によって作られた印刷物」とあるが、「凸版印刷」というのはインクジェットのことなのか、それとも以前のものを残したのだろうか。
新谷	以前の記述を残した。
大西	ここはデータに対するものという意味で、単に「印刷物」としてよいと思う。かつては、印刷会社に1000枚くらい注文していたので(印刷方法としての)「凸版印刷」となっているのだと思うが、現在では、そのようなことはほとんどない。
新谷	それでは、その部分について、変更したものを総会にかけたい。
	<p>8. 来年度幹事について</p> <p>次期幹事候補者は以下の通り。(所属・学連登録年数)(敬称略)</p> <p>【日本学連幹事・会計監査】</p> <p>幹事長→宇井 賢(京大3・現 関西学連幹事長)</p> <p>副幹事長→佐藤 大樹(東京工業大3・現 関東学連幹事長)</p> <p>会計→大久保 宗典(東京大2・現 東京大渉外)</p> <p>事業部長→平野 大輔(名古屋大3・留任)</p> <p>広報部長→高橋 秀明(金沢大2・留任)</p> <p>事務局長→新粥 文哉(千葉大2・現 千葉大渉外)</p> <p>普及部長→杉村 俊輔(東北大3・留任)</p>

渉外部長→橋場 良太(東北大2)
会計監査→野本 圭介(筑波大3・留任)、五味あずさ(金沢大2・現 金沢大渉外)

【地区学連幹事長】

北東→大川 拓哉(東北大1)
北信越→久須美 裕(新潟大2・現 北信越学連副幹事長)
関東→村瀬 貴紀(筑波大2・現 筑波大渉外)
東海→今井 祐太(名古屋大2・現 東海学連副幹事長)
関西→糸井川 壮大(京都大2・現 関西学連副幹事長)

9.技術委員会報告

- 大西より、来年度の学連合宿の開催予定や技術委員会の現状、技術委員会会計、世界学生選手権、規約改正について、報告があった。
- インカレスプリントやインカレミドルの今後のあり方について、話し合った。

大西

資料確認

(1)学連合宿の開催

今年度は、年3回の予定で学連合宿を行ってきたが、第3回合宿は、大雪のため中止となった。来年度も年3回以上の開催を目指していきたい。日程ははっきりとは決まっていらないが、第1回は7月にJOA合宿に強化合宿として参加させてもらい、学連合宿としてユニバーとコラボしてしまおうと思う。第2回は9月ごろに富士あたりでロング対策をしたい。第3回はミドルが行われる愛知で行いたい。(愛知開催の理由)最近の現役生は愛知に全然入ったことがないので、11月・12月ごろにミドル対策を中心にした。第2回・第3回合宿についてはまだ日程を詰めていないので、前後するかもしれない。第4回は山リハとコラボする形で行うことになると思う。年4回開催を目指していきたい。

技術委員については、今年、人数が増えたが、その中には仕事内容がよくわからない状態の方もいる。学連合宿ごとに仕事を割り振っているが、若手のOB・OGを中心として仕事をだいた分散させて、現役生のために、技術向上を図りたい。競技的な指導もあれば、スタッフ的な運営などの仕事もあるので、その説明をしたうえで、各加盟校から(技術委員を)1人ずつ出してほしい。今年度は登録に7月までかかったので、できればゴールデンウィークまでに決めたい。

講習会については、JOAと共同で行った。大会運営や練習会で必要なスキルとして、コースプランニングや地図調査、計センは需要があると思うので、来年度も行っていきたい。そのためには、人数が足りないの、OBに協力をお願いしてほしい。開催が決まれば宣伝をするので、興味のある方はぜひ参加してほしい。なるべく多くの人が参加できるように、大会と抱き合わせて開催する形になると思う。

山本

技術委員が決まったら、地区学連に報告すればいいのだろうか。

大西

去年はそうしていた。

野本

技術委員会は誰が入っているのか全体に見えないので、どんな組織なのかかわからず、敬遠している人が多少いると思う。紹介など、具体的なものがあれば変わる可能性があるのではないのか。現状では学連合宿をしていて、大学から何人が集めているという情報しかない。情報が少なすぎる。

大西

基本的に学連合宿の運営しかないの、それ以上の情報がない。しかも、昨年度は実質2人だったので、人がいなかった。クラブ員を募集するのならば、例えば飲み会をしているというような勧誘ができるが、それは難しい。インカレ運営では、人が集まるが、技術委員会の仕事は敬遠されやすい。ただ、仕事内容はインカレの方がハードである。

新谷

今年の技術委員会への登録人数と、実際に仕事をした人数はどのくらいだろうか。

大西

技術委員会には25人登録しているが、実際に仕事をしたのは1回の合宿で4~5人である。例えば、関西で登録してもらった人には意見を出してもらっているくらいしか関わりがないが、愛知で学連合宿を行う際は、愛知や関西の人をお願いしている。ただ、かなり遠い場所に住んでいる人には、MLを見てもらっているだけになってしまう。

山本

仕事をしている人が5人、10人でも仕事はまわっているのか。

大西

実際に仕事が回っている。

山本

とりあえず、技術委員会に登録してもらえないのだからだろうか。

大西

そうしていきかないと思う。もしそうじゃなかったら、技術委員会が衰退して、学連合宿や講習会が減ってしまったら、なくなってしまう。ある程度技術委員会で運営をしようとなってくればいいのか(人数がいらない)。

山本

運営者の宿泊費などに対して補助は出ているのか。

大西

参加者がコーチの10倍近くいるので、参加費から出ている。宿泊費はだいたい出ているし、交通費についても全額ではないが、補助が出ている。

山本

来年度についても、今年度と同じようにやっていけばいいと思う。

佐藤

まだ、これから(発展していく)部分が多いと思う。人数が増えたのが今年度であるから、とりあえず来年度も頑張って募集してもらって、(活動を)継続していけば、知名度が上がったり、活動内容が知られるようになってくると思う。広報手段が難しい。

大西

個人的に声をかけられる人にはかけているのだが、若手には声をかけにくい。今年度は山上さんがそれをやってくれた。ただ、技術委員の中には、会ったことのないような人がいるが、学連合宿運営には、競技派の若手メンバーも何人かほしい。

山本

技術委員会に入って1年たったら、どうなるのか。

大西

特に決めていないが、辞退する人はそのように扱っているの、徐々に離れているところである。

新谷

技術委員会は、これから何年かはこのような運営でよいと思う。

佐藤

そのようにお願いしたい。

(2)会計報告

大西

基本的に予算を使うのは学連合宿である。学連の会計から補助金が出ているので、ぜひ参加してほしい。

(3)ユニバーについて

大西

ユニバーがチェコで開かれ、そのセレクションが4月に富士で開かれる。ぜひ目指しているような人への宣伝をお願いしたい。あと、最近、世界大会を目指す人が減っているような気がする。そのことについて、あとで意見交換をしたい。(資料に案としている)ユニバーのユニフォーム作成だが、現在使用しているものは、おそらく2005年の代表選手からのおさがりなので、かっこいいものを新しく作って、それを着て走ることにみんなが憧れるのでは、という安易な考えである。また、特典を付けるというのは、現実的に議論してもいいと思う。ユニバーに選ばれたような人は、インカレのエリートと同じ実力があるから、セレ免除をする、というのでもいいのではないのかと思うが、(ユニバーに選ばれた人が)OBの場合は何の関係もない。

山本

私が1年生の時に、所属している東大OLKの会報に掲載されていた、ユニバーやJWOCについての遠征記を読んでいると、自分もそこに行きたいと思った。これと同じように、いぶきで広報するもどうか。

高橋

いいと思う。日本学連ホームページに世界選手権のページがあるので、それも活用してほしい。更新が2008年ぐらいで止まっている。

大西

技術委員会の中にもそういうページがある。引き継ぎがうまくされていないのだからと思う。また、2010年の報告書は公表されていない。(実際に遠征した人)話を聞くのはいいことだと思う。

渡仲	昨年末のJOA合宿で、JWOCなどに実際に行ってきた人の話を聞く機会があったので、そういう機会を設けるのもいいと思う。実際に体験してきた人が(競技を)始めたばかりの人に話をするのはいいことだし、ユニバーはJWOCなどに比べて知名度が低いと思うので、学連合宿などでまず知ってもらわなければいけないだろう。
杉村	2年というの長い。ユニバーの無い年に入ってきた人には関心が薄いので、難しいかもしれないが、ユニバーが終わった直後や、1年に1回以上のペースで報告会を開催するのいいと思う。
山本 大西	ユニバーの無い年はJWOC出場選手が報告してみるのもいいと思う。 学連合宿で報告するのはいいことだと思う。
大西	4. 規約の改正について 前回総会でスタート地区に関する規約について差し戻しのようなことになってしまった。インカレ関係の規約は、「技術委員会で1回通して、幹事会で決定した後、総会にかけろ」というのが、もともとの流れだったと思う。次回以降は、基本的に技術委員会から発案するようにしたいが、要望があれば、どんどん出してほしい。それを基に、技術委員会内で話し合っていきたい。
大西	【インカレスプリントについて】 インカレスプリントは山川さんだけではなく、JOAのスプリントに関わったことのあるような人も関わっている。山川さんは昔からインカレスプリントを作りたいという思いが強い。以前開催しようとしたら、人が集まらなかったということがあったが、現在再び、インカレスプリントを作ろうという動きがある。学生の意見を聞きたい。もし(インカレスプリントを)作っていくのならば、規約改正の必要がある。それは今回の幹事会には間に合わないが、次回以降、規約案を私の方から出してほしい。具体的には、インカレスプリントの開催時期は、春がいいのか、それとも秋がいいのか。私は春の方がいいと思うが、山川さんは秋の方がいいと思っているので、メリット・デメリットを具体的にあげて議論したい。
杉村	インカレスプリントはこれから開催してほしい。これからはスプリントが重視され、JOAでも方針が示されている。スプリントの大きな大会への学生の参加率は低いので、学生がスプリントへ参加する機会を設けるのが重要だと思う。また、一部の学生の中では山川杯への関心が高いため、その対象となった今回の実験大会には、そういった学生が多く参加している。
大西 野本 大西 山田(陽)	時期については運営側の課題がある。 衆人環視のなか「見せるスプリント」を開催するには、休日の方がいいと思う。 山川さんはスプリントへの人数をエリートクラスに絞っているが、そうすると絶対普及していかないと思う。 明日(実験大会が)どうなるか見てからでないと議論できないと思う。山川さんが目指しているのは、山川杯などに関係なく、スプリントがみんなが目指したくなるような、カッコいいスポーツだというものを作るのだろうか、もし明日うまくいけば問題はなくなるだろう。
佐藤 山本 大西 佐藤 大西 佐藤 大西	参加者が男女合わせて40人と少ないのが(今後を考えるうえで)気になる点である。 見ていて楽しいスポーツを目指している感じはする。 スプリントなので、見せるスポーツにできると思う。 今後の予選はどのようにするのだろうか。 (過去の大会・練習会での成績が上位)10分の1というのが、いい選考基準だったという話がある。 レベルが男女で全く違うので、その選考基準はわかりにくい。 ここでは、学生の意見を聞くという程度にしておきたい。 ※この幹事会はインカレスプリント実験大会の前日に開催された。
大西	【インカレミドルについて】 B決勝は昔の予選・決勝方式の名残であるが、改善できるのならば、インカレスプリント関連で規約を改正する際に変えていきたい。エリートが2クラスある必要があるのか(疑問がある)。ただ、レベル別に分けているから必要だという声もある。私が気にしているのは女子のA決勝の人数が非常に少ないことである。あとは、名前である。予選・決勝方式だった当時は、A決勝がちゃんとした決勝で、B決勝は一斉スタートだった。しかし最近のB決勝はA決勝と同じようなコースを走り、ちゃんと表彰されている。むかしとはだいぶ違うので、もっと違う名前があるのではないかと。また、A決勝・B決勝方式の場合、始まったときにラップ解析の際に比較がしやすいという学生の声があったので、同一のコースとなっているが、最近では最終ループを削るなどしてウィニングの調整をしている。レベルが違うのに、前半が同じコースであるのが本当にいいのだろうか。私は、ちゃんと別々のコースを用意すればいいと思う。そもそも、予選を廃止したのは、運営が「予選のあと結果集計をして、決勝を行うのは大変」ということだったためである。私はA決勝、B決勝方式になってから最初のインカレで競技責任者を務めたが、最近のミドル・リレーでは同じ場所を使うことが多いために、ポストの付け替えをしなくてはならない。そのためにB決勝とA決勝の間を30分ぐらい空けて、A決勝のあとさらに付け替えると、日没の時間までかかってしまうので、運営の負担はあまり減っていない。A決勝は(同一コースではない)B決勝と多少かぶせて行ってもいいのではないのかと個人的に思う。かなり競技的な内容なので、しゃべりにくい人もいると思うが、率直に意見を出してほしい。
野本	そもそもA決勝・B決勝の人数はどのようにして決まったのか。また、レベルが上がったり、加盟員が増えたりしてきたとき、その状況によって、(エリートの人数が)どのくらい変わり得るものなのかわからない。
大西	わからない。西脇・前委員長の代で決まったことである。枠の数が少ないとなれば、改正していくしかない。加盟員がもっとたくさんいた時代は、エリートの人数も多かったんで、(その改正に)問題はないと思う。運営上も問題はないだろう。
山本 佐藤 野本	あと、A決勝とB決勝のコースの一部が同一であることに意見はないだろうか。 個人的には、「併設と対比されたエリート」というイメージがあるので、B決勝でもモチベーションが上がると思う。 コースが同一だと、Aとの差がわかりやすいので、全体のモチベーションが上がると思う。
山本	B決勝を一つの目標にしている人がいるので、その存在意義は感じている。ただ、ここまで同じコースだと、A決勝のプレミア感のようなものがなくなってしまい、(AエリートとBエリートの双方とも)モチベーションが下がると思う。比べることは、セレクションですで行っていることであるから、個人的には同一コースでないほうがいいと思う。
渡仲	私は去年B決勝で2位を取ったが、少し複雑な気持ちになる。B決勝で勝つ人は結局A決勝を走るくらいの実力があるのにセレクションに落ちた人という感じがある。
大西 佐藤 大西	今年のロングを見ておもしろいのだが、エリートだけが走る時間を設けた方が、走る方にとっても見る方にとってもエリートの価値が高まると思う。可能ならば、一番上のクラスだけが走る時間をつくり、エリートを見せた方がいいだろう。 それを考えると、Aエリートのスタート時間が遅い感じがする。そのあたりをもう少し工夫することが必要だと思う。 ご飯の時間が中途半端になっている。 その議論は、運営者がどう(競技を)見せるかという話になってくる。 いろいろな意見をいただき、ありがたい。これらを持ち帰って議論して、次回の幹事会である程度まとめて出したい。また、3月末~4月初頭に、全体の意見を聞くためにアンケートを取りたい。
山本	高度に競技に関わることなので、できるだけ早くに出してほしい。 総会では、そのうちアンケートが行くという話をしたい。
10.各部署活動報告	
山田(陽)	●会計：今年度会計中間報告、来年度予算案作成
平野(大)	●事業部：第4回幹事会の準備、インカレ開会式運営関連(選手権スタート順抽選、シード選手紹介)準備、後夜祭・講習会の準備
高橋	●広報部：第3回幹事会議事録の発表、ホームページの更新、Twitterの開設
山田(晋)	●事務局：地図販売・各種申請の受付
杉村	●普及部：インカレ観戦ガイドの作成
平野(弘)	●渉外部：日光・矢板への回覧の送付(2月分：1月下旬、3月分：2月中旬) テレイン利用について地元への周知

2013年度第4回日本学連幹事会議事内容(3月9日開催分)

発言者 (敬称略)	発言内容など
	幹事会開始:18時42分
山本	6日の幹事会で議論をしたが、まだ議論が必要な議題について、ここで扱いたい。
	2.会計について
	●一昨年度・昨年度の会計の取り扱いについて、理事と相談した。その結果、現在わがっている、2010年度末と2013年6月の時点の学連資産の残高を基に、使途不明金をはっきりさせ、総会に報告することとなった。
	●山川より、地図会計の現状について報告があった。
	●6日の幹事会で提案があった、加盟金の値下げについて、理事の意見を求め、議論した。その結果、剰余金が多く出ていくことと事業収入が増えていることを踏まえ、来年度以降の加盟金を2000円とすることを総会に提案することとなった。ただし、会計がひっ迫した場合は値上げする可能性があることを条件として加えることとした。

	【一昨年度・昨年度の会計について】
山本	6日の幹事会で議論はしたが、理事の方に相談したいところがあるので、今日も議論したい。
山田(陽)	小柳・前会計には、明細を出すには2週間かかると言われており、(会計の詳細は)いまだ不明のままである。現金で引き出された金額は(振り込みを除いて)2年間で約400万円だった。その使い道は、交通費・部局活動費・幹事会活動費・総会経費くらいだと思うが、2年で400万円は多い気がする。これ以上、何をすればよいだろうか。
山本	現金で使うお金は、1年で120万円~130万円だろうから、2年間だと250万円くらいになる。残り150万円については、これ以上わからないので、不明金として処理するしかない気がするが、JOAに加盟するのだから、それはそれでよくないと思う。
木村	(小柳・前会計に明細を)発行してもらおう。
山本	調べられるというのは、おとといになってわかったことなので、動くのが遅れてしまった。
木村	単年度の収支はわかるか。
山田(陽)	私の担当している、今年度の(学連の)通帳に記載された分については6月以降ならわかる。
木村	まず総会で昨年6月からの中間報告をして、それ以前については、さかのぼっていくしかないと思う。3年前と昨年6月時点の資産を総会で報告して、空白部分をはっきりさせ、その空白部分については、期限を区切って調査し、秋の総会で報告することとするべきだ。こうしないと、承認は難しい。
	なお、日本学連は任意団体なので、その会計はJOA加盟には影響しない。
山本	それでは、2010年度末と昨年6月時点の純粋な残高を、明日の総会で報告できるように、資料をつくってほしい。
山田	あと、(小柳・前会計の)資料が完成したら、幹事メールで報告すればよいか。
木村	まず、会計監査に見てもらえばよい。
山本	私にもそれを送ってほしい。

	※以下の「地図会計について」と「今年度会計・中間報告について」は「5. インカレスプリントについて」のあとに議論
	【地図会計について】
山川	具体的な数は明日の総会で報告するが、今年度の地図売上枚数は1万1000枚近くとなる。最終的な(地図売上枚数の)数字の報告は、(幹事会開催日から)2週間後に開催される、WOCの選考会(3月22日)や「毘沙門山」で行われる、合宿が終わって以降となる。あまりの忙しさのためにできなかったこともある。日光に関しては、(関東学連)ロングセレや(関東学連・北信越学連合同)ミドルセレで十分な修正をしたので、一応予算を使い切った。「矢板塩田」と「矢板」の整備作業はできていないので、決済はもったが執行できなかったものとして、お金はとらないこととした。年度内は、(WOC選考会が行われる)「日光愛宕山」の地図調査があり、また(インカレスプリント実験大会開催に伴う)矢板運動公園(番匠峰古墳)の地図調査と(インカレスプリント実験大会)運営にそれぞれ20万円いただいた。それらの会計報告と精算を行い、日本学連にお金を戻したい。
	地図会計については、これから幹事会で毎回報告したい。地図規約の方は、(新規約の制定によって)新しい業者が参入しやすくなるが、それとは別に、これから新しくつけられる指定管理者者契約については、難しい問題を取り扱っていて、報告が多く、責任が重いので、ハードルが高いものとなる。
山本	いつも作っていたらいい。地図会計についての資料は明日出してもらえるのか。
山川	明日持ってくる。請求書はすぐできる。 (19時35分 山川途中退席)
	【今年度会計 中間報告】
山本	6日に学生で話し合っていたことについて、理事の方に確認していただきたい。
山田(陽)	今年は、加盟員が増えたため加盟金が多く入ったうえ、地図売上が好調なため、支出を大きく上回る収入があったので、来年度は加盟金を下げてもよいらしいという話になった。(かつての徴収金額である)2000円に戻したい。
山本	3年前に会計がひっ迫したため、加盟金を2000円から3000円に上げたという話だったので、(今の会計の現状を踏まえれば)戻してもいいだろうということとなった。
木村	剰余金が積み上がっていること、会計の中でも事業収入が増えていることを考えれば、問題ないと思う。基本的な考え方として、会議費・事務局費などの固定費は加盟金で負担し、インカレ・講習会・後夜祭・合宿・ユニバーなどの事業に対する補助などは事業費で賄う、というのがある。
山本	これだけの黒字が出る見込みなので、加盟金を下げてもよいと思う。ただし加盟員が再び減少したら、上げるかもしれないという条件を付けたい。
木村	例えば、黒字分を交付金という形で、本当に有効に使えるお金とするのも一つの方法である。
山本	わかりやすいので、加盟金を下げるという話を総会でしたい。
	あと、確認だが、収入と支出の両方に地図代が書かれているのはどういったことだったか。
山田(陽)	収入の方の地図代は、山川さんが今年4月に地図売上と家賃を合算して振り込んだものである。
山本	それは前年度分にならないのか。
山田(陽)	(地図代は)そうなると思うが、家賃は今年度分である。そして、テレイン調査などで必要になったお金を振り込んだ分が支出の方の地図代である。
山本	そうなる今年度分の事業費である。本来ならば、収入の方の50万円は、分けて書くべきであるが、もし質問が出れば、そのように答えよう。あと、会計の明細を作ってほしい。
新谷	賛助金(振り込みの)個人名は伏せた方がよい。
木村	総会は、「会計に間違いがない」と会計監査が証明したものを、みんなが承認する場であることが一般的には多いので、(明細は)配らなくてよい。

	<p>3.JOAとの関係について</p> <p>●JOA競技者登録登録時の都道府県協会への登録について、日本学連・JOA理事である木村に確認を取り、その取扱いについて話し合った。その結果、大学単位で基本的に登録する都道府県協会を決め、それ以外への登録を希望する人についてはそれを通し、さらに、これらとは別に、ふるさと登録についても希望を取る方針となった。</p>
山本	ここでは、6日に話し合ったことの報告をし、(JOA競技者登録時の)都道府県協会の登録について木村理事への相談を行いたい。明日の総会では、今まで話し合ったことの確認をして、(JOA加盟についての)最終的な意思決定をしたい。木村理事に確認したいのだが、日本学連のJOA加盟後、(日本学連加盟員は、JOAに登録する)都道府県協会は選べるようにしてよいのだろうか。
木村	現在JOAには、登録する協会をしぼる決まりはない。それは実際に住んでいるところと住民票のあるところが異なる場合が多いのでしぼることが難しいからである。実際に、私のいる長野県協会の中には、長野県に住んでいない人がたくさんいる。また、かつてクラブが存在した信州大学OBが多く加盟しているが、その中には首都圏や関西にいてもいい。
山本	住所のほかに、どこの都道府県協会に所属するかについても聞くべきだろうか。
木村	都道府県協会への登録の選択肢には、自分が所属したい県、ふるさと登録、大学所在地の3つがある。特に示されない場合、は大学所在地の県とするのが自然だと思う。なお、大学が複数の県にある場合は、そのクラブに決めてもらうのがいいと思う。JOAは、日本学連から報告されたものをそのまま(競技者名簿に)載せるだけなので、何か意思を示せばよい。
新谷	加盟に関する規約には、1校の分割加盟というのがあり、キャンパスが分かれている場合、リレーチームはそれぞれのキャンパスから出せばよいこととなっている。この場合は、所在地が2つとしても大丈夫か。
木村	大丈夫だ。この部分は、そのような大学を想定したものである。
山本	その解決策として、各大学にはどの都道府県協会に所属するのか事務局へ表明してもらい、基本的には大学ごとにそこへ登録させようで、それとは別にふるさと登録してもらえばいいだろうか。
木村	それは難しい。例えば、群馬県から東京の大学へ通っている場合、群馬県協会に登録したいという人がいてもおかしくない。まずは本人の意思が重要だと思う。
山本	そうならば、大学ごとに基本(的に登録する都道府県協会)を決め、それ以外の協会への登録希望がある人はそれを書いてもらい、それとは別にふるさと登録したい都道府県があればそれを書いてもらうようにしたい。特に希望がない人は、(それらの項目を)すべて空欄にしてもらい、所属大学の所在地の協会に登録することにして。今年度末あたり、各大学から(所属する協会について)連絡をもらい、特に変更がなければ、今後も同じ(協会に登録すること)として。また、年度ごとに個人の意思を確認したい。 →特に異論がなかったため、この方針で都道府県協会への登録をしていくこととなった。
山本	JOAへ支払うお金は、入会金50万円、年会費10万円で正しいか。
木村	その通りだ。入会金は一時金であるので、一度だけ支払えばよい。今のJOA会員は、入会金も年会費も払ってきた。また、年会費は10万円だが、組織助成金という形で5万円が戻っているの、実質5万円である。ただ、学連と都道府県協会は規模が違う。日本学連は選手登録費用を無料にすることを主張し、JOAに認めてもらっているが、その代わりというわけではないものの、キャッシュバックはないということになっている。
	<p>6.地図規約について</p> <p>●山川より、地図規約をめぐる経緯について説明があった。そして、この規約を明日の日本学連総会にかけることとなった。また、地図規約が成立した場合、この規約に沿って筑波大会が開催されることとなった。</p>
山本	齋藤理事が出した規約案を議論することは、(実務経験の少ない)学生ではもうできない(レベルに達した)ので、理事の方が来てから話そうと思っていたところである。
山川	基本的には、学連の中で大きな金額が動いていて、今まで私と学連との信頼関係のような形でやってきたこと(地図作成)を明文化したものである。特に今年は、早大大会、千葉大・東工大大会でそれぞれ使われた、「毘沙門山」「矢板山田」のプロジェクトが進んできたが、(決済できる金額の上限について、規約の規定があるため)その都度、幹事会・総会で承認を取らなければならなかった。そのようなプロジェクトを動きやすくすること、私(YMOE社)以外の新しい業者が参入しやすくすることを目的に、(地図規約の制定に向けて)動いてもらっている。(すなわち)これまでは大きなお金が動くプロジェクトがあるたびに、法律を作らなければならなかった。(地図規約については、)時間をかけてもまだ細部まで決めきれていない。ただ、そのようなプロジェクトをもう止めるわけにはいかないので、明日の総会で承認を取った後、ある程度の猶予期間を取り、運用していこうというところだ。現在、同じ意図で(大会を開催したいという)筑波大から申し出が来ている。明日の総会で規約が承認されたと同時に、自動的に幹事会決議で承認されたものとして、承認をお願いしたい。
山本	あと、(規約の)修正期間は、(幹事会が開かれる)6月までだと短いので、秋の総会くらいまでとりたい。その間に、地図規約とは別に、(日本学連所有地図の)指定管理者契約というものを練って、盛り込んでいきたい。
山川	私は地図作成業者というよりは学連のコンサルタント業務というかたちで動いていきたい。来年度のインカレは、ロングは三上氏が行うし、ミドル・リレーについても私が受注するが、実際の調査は西村氏にお願いする。
山本	指定管理者は、当然山川さんが行うということなのか。
山川	地図作成業者ではなく学連の立場を代表することで、もっと堂々と意見が言えるようになると思う。実際の現場を若い人にやってもらおうと思う。
新谷	なお、筑波大会も同じ規模で行おうと考えている、160万円でしようと考えている。開催場所は、矢板幸岡の南側である。
山本	地図規約では、学連が地図を(初年度は)赤字の状態で作成し、それを運用して(それ以降)黒字にしていくのだと思う。参加人数が出ていない段階で160万円と言われても、その金額が妥当なのかかわからない。
山川	単純に金銭的に元を取るという観点と、矢板幸岡の南側に新しいテレインができることが学連加盟員の利益になるかどうかという観点がある。
新谷	精査の仕組みは詰めなければならないが、日本学連の流動資金をうまく活用しようという意図があるので、常に黒字にしようというわけではない。
山川	開発しようとしているテレインは、利用しやすい場所にあるのか。
山本	駅から3kmなので、ぎりぎり徒歩圏内である。将来の拡張の起点にもなりえる。また顔なじみの小学校が増えるので、渉外的にも良い。
山本	筑波大会はいつ開催か。
村瀬	来年1月25日である。
山川	なお、(このプロジェクトで使われるテレインは)栃木県に限らず、日本全国どこでもよい。ただ、自力でできるのならば、それでも良いと思う。 →地図規約が総会で承認された場合、その規約のもとで筑波大学大会を開催することが承認された。(現幹事13人中賛成13人(うち委任状1)反対0人)
	(19時18分 山田(晋)途中退席→委任)

<p>新谷 山川 新谷 山川 山本 新谷 山川 木村 山川 山本 山川 山本</p>	<p>5. インカレスプリントについて ●山川より、インカレスプリント実験大会（3月7日開催）の総括があった。そして、今秋のインカレスプリントの正式開催に向けて、総会・幹事会で議論していくことが確認された。</p> <p>インカレスプリントは実験という名の通り、実際に開催してみて分かったことがたくさんあり、反省点もいくつもあった。特に複数の選手には失格行為があったのだが、役員側にも少し落ち度があったため、結局失格にならなかった。競技スプリントをしっかりと認識してもらう点については残念な結果だった。ただ、それを説明するのは、論文が1本書けるくらいの内容が必要なので、あとでしたい。まず日本学連としては、日本を代表する団体である以上、仕組みを作らないことはもはやありえない。その仕組みを自分たちで作るのか(すなわちインカレスプリントを開催するのか)、それとも全日本大会に託すのか、いろいろ選択肢を出しながら、議論を進めていきたい。来年のロングの前日に正式な大会を立ち上げて、(スプリントは)どうあるべきか話し合いながら、やっていきたいと思う。明日、(スプリントに関するここ)半年間の議論の整理点をまとめたものを配りたい。そしてインカレスプリントを正式に立ち上げる承認を取りたい。</p> <p>他のインカレと同時開催することは必須なのだが、今回のようにインカレミドルの前日に、モデルイベント・インカレスプリント・開会式と3本続けて開くことは無理だとわかった。それをこなすだけの集中力が、運営側にも選手側にもなかった。インカレロングと同時開催するのがよいというのが私の実感としてある。予選・決勝方式で開催するのがいいのかなど、5年前の試行大会にまで戻って、これから議論したい。</p> <p>スプリントの報告書はいつできるのか。 なるべく早く作りたい。</p> <p>その報告書ができる前に、正式な大会の開催の決議をとるのは無理だ。明日の総会では決議できないと思う。</p> <p>東大大会の会場で臨時総会を開こうか。 一度クラブ内で話し合う時間を設けた方がいいと思う。</p> <p>スプリントの準備は、東大大会で総会が開かれてから始めるのか。 調査はすでに始めている。もし総会で否決されても、別のものとして作らなければならない。</p> <p>おそらく否決されても、何らかの併設イベントとして行うことになるので、福井県協会や実行委員会が対応する。(総会での決議は)そこでの優勝者を学生のチャンピオンとして認めるかどうかの話となる。</p> <p>自分自身でも新たな発見があり、思っていることとは違うのだと感じた。報告書の趣旨は、そういうものをみんなにどううたえていくのか、ということになると思う。</p> <p>ただ、日本(の学生オリエンテERING界)を統括する競技団体として、逃げて済む問題ではないということは認識してもらいたい。</p> <p>それでは、山川さんが明日の総会で今までの議論を整理・報告し、1度クラブに持ち帰って議論し、6月の(臨時)総会で【インカレスプリントの正式開催について】決議する、ということになるのだろうか。</p> <p>そのようになる。報告書は長いものになりそうだが、しっかり作る。 6ページくらいに要約したものも必要だろう。</p>
<p>木村 大西 新谷 山本 木村 大西 木村 山本 新谷 大西 新谷 大西 山本 大西 川上 山本 大西 山本 大西 山本 大西 山本</p>	<p>明日の総会について(番外)</p> <p>明日の総会に山西・JOA会長があいさつに来る。JOAと学連は仲良くしていこうとのことである。山西会長は、東京教育大学(現・筑波大学)の出身であり、第1次マラソンプームの火付け役である。</p> <p>例えば、スプリントの規約案は作った方がよいか。 その方がよいと思う。</p> <p>山川さんの報告書とすり合わせてほしい。</p> <p>(日本学連は)競技団体であるから、基本的には、国際ルールやJOAのルールとの整合性がなければならない。</p> <p>ここで言っているのは、インカレの実施規則のようなものについてである。</p> <p>それは十分議論をしていくしかない。</p> <p>エリートの人数や予選・決勝方式で開催するのかどうかなどを決めないといけな。実施規約を作らないとインカレはできないが、(準備を)やってもらうしかない。</p> <p>実施規約の承認を、東大大会開催時に開かれるであろう、臨時総会でやらないと、インカレロングの前までに間に合わない。秋の総会で規約の承認をとっても大丈夫なのか。</p> <p>最悪、実施規則は秋の総会で承認をとっても大丈夫だろう。</p> <p>競技をしてから承認を取るということなのか。</p> <p>事後処理となる(がそういうことだ)。承認を取る前に幹事会で話し合った方がいいかもしれない。</p> <p>6月の総会で実施規則の承認を取るのを目指さないのか。</p> <p>それができればいいが、事後処理になるかもしれない。</p> <p>そこで承認されても、エリートの枠などが決まって、地区学連で選考しろと(本番)3か月前にいきなり言われても厳しいと思う。</p> <p>(19時52分 山田(晋)席に戻る)</p> <p>(今回の)インカレ後に話し合う時間が必要だ。</p> <p>運用面も含めて、規約を作っていくといけな。結局、幹事会での議論だけでなく、学生の意見を聞く必要があるかもしれない。</p> <p>それでは、インカレをやってから、規約を事後承認する形になるだろうか。6月の総会では(実施規則案を)説明して、秋の総会で承認を取り、それまでに質問を受け付ける形になるか。</p> <p>また考える。あと、東大大会のコントローラーをしているため、幹事会には出られないかもしれない。</p> <p>(インカレスプリント開催・実施規則承認までの)予定表を考えていただきたい。</p> <p>あと、確認だが、明日、技術委員会報告として話すのは、学連合宿のことと、技術委員会の委員を出すこと、会計報告、ユニバーの宣伝、規約改正の話は技術委員会を通すことでよいか。</p> <p>規約改正の話は、幹事会に向けた話なので、話さなくてよい。学連合宿、会計報告、ユニバー当たりの話について口頭で報告すればよい。</p> <p>あと、(インカレミドルの)B決勝についても話をするべきか。 ちゃんとできるかわからない。言わなくても大丈夫だ。</p> <p>そのようにしたい。</p> <p>あと、次回総会は明日、次回幹事会は東大OLK大会の前日である5月31日に(その開催地である)赤城付近で、それぞれ開催したい。(インカレスプリントについて議論する)臨時総会は東大大会の会場で表彰式後くらいでやる流れでいきたい。</p>
	<p>幹事会終了:19時58分</p>